

2022年5月 (No.395)

主な内容とページ

過熱は一服、不透明感強まる	1
鈍化の時期でも高水準を継続.....	2
供給難で年度末の機器生産鈍化？	3
過熱一服したが、新たな波乱要因	4
世界半導体企業 40 社、第 1 四半期も好調持続.....	4
変わる米国企業の世界観、四つの衝撃	9
半導体復活は原点回帰で(SRL だより)	11

過熱は一服、不透明感強まる

半導体需要は、依然として品不足が解消されない分野と需給が安定する分野が混在している。

1. パソコンやスマートフォン向けは需給が安定。その一方、自動車、産業用機器など半導体の供給量により生産が抑制されている分野も多く、混乱は解消されていない。
2. 2月末に勃発したロシアによるウクライナ侵攻、その後の中国での新型コロナ感染に伴う一部の都市閉鎖などが半導体需給に与える影響は不透明。今年後半での警戒感が強まっている。
3. EV(電気自動車)の生産増大に代表される環境対策、コロナ感染に伴うIT特需、ウクライナでの戦争での精密誘導兵器の重要性等、供給不足を含めて半導体の重要性の高まり、再認識がみられ、各国国家による半導体支援、干渉、競争激化が増大しつつある。

半導体復活は原点回帰で

このところ半導体に関連した話題、品不足、経済安保、国家支援等々にぎやか。台湾 TSMC の誘致では、その是非をめぐる国論は二分している。政府の半導体戦略は始まった段階だが、入り口から大荒れ。しかし、復活を果たすには、紆余曲折はあっても新たな取組が必要で、成し遂げねばという思いは皆共通だろう。

戦略をめぐるいささか情報過多、どれも一理ありそうだが、私は原点への回帰、シンプルに取り組むことが大事と思っている。それはよくいわれる日本は「技術で勝ってビジネスで負けた」ということである。東芝を例にして申し訳ないが、技術力は豊富でも会社の事情でメモリ部門は売却、一事が万時、この業界の歴史だ。

日本の強さ、魅力は「カラオケ」「パチンコ」「ゲーム」「電卓」「デジカメ」等々、草の根、庶民の生活に潤いや楽しみを提供する豊かな文化、創造力。これは大会社、政府からは生まれにくい。技術は大事だが、半導体を使って新たなビジネスを生み出す。それが原点で、今は SNS、アニメ、ブログ、5G などいくらでもチャンスが転がっている。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2022 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2022 年 5 月 (毎月 1 回発行) 第 33 巻 5 号 (通巻 395 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2022

SRL Monthly Report

May 2022, No.395

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014 Japan

Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分 (12 号) 98,000 円 (税別) 107,800 円 (税込み)